

令和4年第23回公安委員会会議録

日時	10月6日(木曜日)	自午後 1時30分 至午後 4時45分	場所	公安委員会室
会議	公安委員	小野委員長 高木委員 宮尾委員 廣塚委員 甲斐委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 定例会議

1 令和4年全国地域安全運動の実施について

(1) 目的

防犯協会をはじめとする地域安全に資する関係機関・団体及び警察が、期間を定め、地域安全活動を更に強化するとともに、その相互の連携を一層緊密にすることにより、地域安全活動の効果を最大限に上げて一層の浸透と定着を図り、もって安心して暮らせる地域社会の実現を図るもの。

(2) 期間

令和4年10月11日(火)から同月20日(木)までの10日間

(3) 主催

公益財団法人全国防犯協会連合会、公益社団法人熊本県防犯協会連合会、公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター、警察庁及び熊本県警察

(4) スローガン

みんなでつくろう安心の街

(5) 運動重点

ア 全国重点

(ア) 子供と女性の犯罪被害防止

(イ) 特殊詐欺(電話で『お金』詐欺)の被害防止

イ 本県重点

(ア) 子供と女性の犯罪被害防止

(イ) 特殊詐欺(電話で『お金』詐欺)の被害防止

(ウ) 自転車盗・オートバイ盗の被害防止

ウ 主な取組(予定)

(ア) 電話で『お金』詐欺被害防止広報CMの放映(生企)

(イ) 防犯ボランティアと連携した通学路における警戒パトロールの実施(各署)

(ウ) 防犯ポスターコンクール等の実施(熊本南署、玉名署)

(エ) 年金支給日における「電話で『お金』詐欺」被害防止キャンペーン(各署)

(オ) 自治体、防犯ボランティア、地区防犯協会等と連携協働した出発式、防犯イベント、防犯パトロール等の実施(各署)

【委員からの質問等】

- 委員から、「本県重点で、自転車盗・オートバイ等の被害防止を挙げているが、具体的な対策はあるのか。」旨の質問があり、警察側から、「警察官が高校のステッカーが貼られている無施錠の自転車を発見した場合に、そのステッカーの番号等を控えて教育委員会に通報し、各学校において直接生徒に自転車の施錠をすよう指導してもらう取組を進めている。」旨の説明があった。
- 委員から、「特殊詐欺に対しては、社会全体として防御する体制が必要と考える。SDGsが推進される中、経済団体、企業が社会性を重視しており、このよう

な地域の安全運動に参加してもらう良いチャンスだと思う。特に、電話で『お金』詐欺では、ATMや窓口で高齢者に直接対応するのは現場の担当者なので、企業の経営者だけではなく、現場の人間にも問題意識を持ってもらうことが重要だと考える。」旨の意見があった。

- 委員から、「電話で『お金』詐欺に対して、個人個人に危機意識を持ってもらう必要がある。県民皆さんに周知していくには民間との連携が大事であり、今後も継続して民間と連携し、地域の活動を盛り上げてもらいたい。」旨の意見があった。

2 令和4年秋の全国交通安全運動の実施結果について

(1) 交通事故等の状況

ア 交通事故発生状況（過去5年間の秋の全国交通安全運動期間における発生状況）

○ 熊本県内

区分	H30	R1	R2	R3	R4	前年対比		5年間の平均
						増減数	増減率(%)	
発生件数	96	62	62	65	75	+10	15.4%	72
死者数	1	0	2	0	1	+1	-	0.8
負傷者数	132	73	83	92	103	+11	12.0%	96.6

○ 全国

区分	H30	R1	R2	R3	R4	前年対比		5年間の平均
						増減数	増減率(%)	
発生件数	10,490	9,540	8,270	8,147	8,468	+321	3.9%	8,983
死者数	94	89	87	63	83	+20	31.7%	83
負傷者数	12,887	11,532	9,948	9,760	10,036	+276	2.8%	10,833

イ 全国一斉「交通事故死ゼロを目指す日」の結果

○ 9月30日（金）実施

県内の死者数0人（全国の死者数8人）

ウ 特異事案

発生日時	所属	発生場所	路線	類型	重体者	事故の概要
9/23（金） 午前1時00分	熊本南	熊本市南区 城南町今吉野 先路上	国道266号	原付× 大型貨物	第一当事者 16歳 高校生	【追突事故】 信号停止中の第二当事者へ第一当事者が追突したものの

(2) 広報啓発活動等の状況

ア 各所属の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ、県下全域でキャンペーンや街頭活動等を実施

イ 主な取組等



9/21 第39回県民大会



9/23 サポカー等体験研修会



9/30 交通事故死ゼロを目指す日の取組

【委員からの質問等】

- 委員から、「熊本県の運転免許返納率が九州で最下位だったという新聞記事を見た。県警では高齢者の運転免許返納促進に、どのように取り組んでいるのか。」旨の質問があり、警察側から、「運転免許センターに看護師が常駐し、認知機能が低下した方からの相談に看護師が立ち会い、職員とともにアドバイスを行うなどの取組や、各警察署では、業務を通じて把握した運転に危険性のある方に対して、個別面接・指導、または家族とも相談して自主返納を促している。」旨の説明があった。

第2 報告・決裁等

- 1 **死亡事故に係る免許取消処分についての決裁**
運転免許課課長補佐から説明があり、決裁が行われた。
- 2 **援助の要求についての決裁**
警備第二課長から説明があり決裁が行われた。
- 3 **苦情（R4. No. 9）調査結果についての決裁**
捜査第一課次席から説明があり、決裁が行われた。
- 4 **監察業務の報告等**
第39回危険業務従事者叙勲及び令和4年秋の叙勲についての報告
首席監察官から報告が行われた。
- 5 **令和4年第21回(9/15)・第22回(9/22) 公安委員会会議録の決裁**
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。